

は全戸の皆さんの目にふれる。パソコンの利用は限られた方だけだが、すばやく送受信できる。両方組み合わせれば、より良い情報交換ができ、町内の皆さんに反映できる。皆様からの情報を期待しています。

※第2回開催予定 6月6日(日) 19時 公会堂

## ◎新しい学校づくり

岡山市立御南中学校長 黒田 英雄

河畔の桜の固そうに見えた蕾が、気温の上昇とともに一雨で、緑の衣を付けてふくらみ始めました。桜前線によると、この地域の開花もまもなくのようです。

田中野田の町内会の皆様には、平素から何かと大変お世話になっております。

学校では卒業式を無事終え、本校の歴史の57ページ目を書き終えようとしています。学習に運動に大活躍した239名の卒業生の皆さんには、これからも健やかな旅を続けてほしいと折らずにはおられません。

ところで今学校は大変革の時期を迎えています。それは平成14年度から教育課程が改訂され、多くの中身が変わるとともに、次々と新しい施策が実施されているからです。地域から学校を眺めていただくと、それほどの変わり様は感じられないかもしれませんが、封建社会から近代社会へ脱皮した1872年(明治5年)の改革と、国家主義から民主主義へと生まれ変わった1947年(昭和22年)の改革に続いて、第3の改革という呼び方もされるほどです。

では、どのような改革が行われているかを、箇条書きにしてみます。

- (1) 学校週5日制……土曜日を休業日とし、1週間が28時間になる。
- (2) 学校評議員……校長の求めにより、評議員が学校運営に意見を述べる制度。
- (3) 外部評価……学校外の人(学校評議員、保護者等)による教育活動の評価。
- (4) 総合的な学習……環境・情報・福祉・国際化などで、自ら課題を見つけ、その課題を追求していこうとする学習。
- (5) 選択教科……自分で学習する教科を選んで学習する。
- (6) チームティーチング……教科によっては2人の先生で指導する学習形態。

(7) 少人数習熟度別学習……クラスを学習の習熟度によって15人程度の小集団に分けて学習する形態。

(8) 絶対評価……集団内での位置を重視する相対評価から、学習目標に対してどこまで到達したかという評価。

(9) 中1・中2の学級編成の弾力化……それまでの40人学級から35人程度にする試みが段階的に進められている。

(10) 通学区域の弾力化……H17年度から小1と中1の入学時に、隣接学区の学校を希望して、条件が整えば入学できる。そのために公立小・中学校でもオープンスクールを開き、パソコンのネット上に学校のHPを載せる必要がある。

(11) 県立高校自己推薦入試……H17年度から県立高校の全学科で自己推薦による入試が始まる。(科により推薦枠は異なる。)

その他に他府県では、地域の方が学校の経営(教育目標、予算、教職員の人事等)に参加するコミュニティスクールや、教員のFA(フリーエージェント)制などが企画されているところもあります。このように、今回の一連の改革は、学習の内容や指導方法、評価、学校経営、入試、学区制など、中学校に関するものだけでも大変多岐に亘っており、これらの改革が全て終わると、我が国の教育システムが様変わりしてしまうことが予想されます。

政治や経済など社会のシステムが大きく変わろうとしている今日、学校も変わる必要があるでしょうし、教職員の意識改革も大切なことです。しかし、学校が地域の中に在る限り、地域の子どもを育てるという役割については不易であると思います。

そういった意味でも、学校と地域の関係は、今後益々密接でなければなりません。「開かれた学校」は本校の目標であります。これからも、気軽に学校をご利用いただきますとともに、生徒の育成にもご支援とご協力を下さいますようよろしくお願いいたします。

